

## 住宅地の居住環境整備 ーきたまちー

歴史的町並みの保存・再生実践講座Ⅰ（キャリアデザイン・ゼミナールB03、住環境学フィールド演習Ⅰ）

歴史的町並みの保存・再生実践講座Ⅱ（キャリアデザイン・ゼミナールB04、住環境学フィールド演習Ⅱ）

### ◆目的・概要

奈良女子大学周辺地区であるきたまちを対象に、歴史的町並みの調査手法を身につけるとともに、地域の現状を把握し、地域資源を発掘することを目的としています。

本年度は、前期に時代別の地域資源の発掘調査や、地元のイベントへの参加を行うほか、後期には京街道沿いの建物・景観調査、評価を行いました。

### ◆スケジュール

日程	内容
6月	文献整理、現地調査
7月	マップに地域資源をプロット、成果発表
8月	奈良街道まちづくり研究会主催の幻燈会に参加 レポート提出
10月	きたまちの歴史と特徴に関する説明 京街道沿いの建物の写真撮影
11月	パソコンを活用し京街道沿いの建物を連続写真に加工
12月	京街道沿いの建物を個人評価
1月～2月	個人評価を集計 集計結果をもとに住民の方を交えての討論・ワークショップ

### ◆取組成果

古代～平城京以前、平城京時代、中世、近世、明治・大正、昭和（戦前）の6つの時代に分かれ、地域に分布する資源を発掘し、時代別の地図に書き込み「時代別レイヤーマップ」の作成を行いました。また、夏に若草中学校大階段周辺で行われた幻燈会にもスタッフとして参加し、イベントの体験、地域の方と交流の機会を持ちました。

後期は、奈良の北の玄関口であり国宝転害門が立地する京街道を歩き、街道に面する建物を1軒ずつ写真撮影。パソコン上で写真を加工、街道の連続写真を作成し、まちの景観・空間構成を理解しました。その上で再度まちを歩ききたまちの建物・景観を個人で評価・考察して、ワークショップ形式で京街道のまち並みについて討論を行いました。

### ◆今後にむけて

住民の皆さんと一緒に活動することで、地域の資源や課題について理解を深めることができました。今後は、資源の保全と活用にむけて、具体的なテーマに取り組みたいと考えています。

### ◆関連科目

建築・住居史、住生活学Ⅱ、建築一般構造学、建築装備学Ⅰ、住居管理学、住環境計画学、都市計画学Ⅰ  
測量学、設計演習Ⅳ、景観デザイン基礎・応用

※次年度から歴史的町並みの保存・再生実践講座ⅠとⅡは統合し「歴史的町並みの保存・再生実践講座」（後期）になります。



時代別レイヤーマップ



幻燈会の準備



住民の方を交えた発表



手貝町東側 連続写真